



☆自己分析・他己分析をしよう！！

就職試験の中には、面接試験があります。会社を選んだ理由(志望動機)を聞かれたり、自分が頑張ってきたことや、長所などを聞かれます。その時に、自分の強みやPRポイントを、自信を持って話せると思いますか？

自己分析・他己分析では、自分では知らなかった新たな一面に気づくことができ、またそれを面接に活かすことができます。自宅にいる今だからこそ、自己分析で自分を知り、他己分析で客観的に自分を見つめなおし、来たる面接試験に備えましょう！

○次の質問を、自分と友達や先輩・後輩にしてみよう！

<p><b>1</b> 自分のいい所(長所)は？ どんな性格だろう？</p> <p>自分と他の人の意見が一致していればそれは自己PRにできるし、強みにもなります。また自分では気がつかなかった長所に気がつけるかも？！</p>	<p><b>3</b> 学校行事や部活などの思い出は？</p> <p>特に、楽しかったことや、頑張ったこと、うれしかったことなどの思い出話をしましょう。意外と忘れていたエピソードなど、発見があるかもしれません。</p>	<p>自分の強みはなんだろう</p> <p>うまく自己PRができたらなあ</p>
<p><b>2</b> 最初にあった時の印象(第一印象)は？</p> <p>面接は第一印象が大切です。初めて会った時の印象が、あまり良くなかったのであれば、まずは笑顔で心がけましょう。</p>	<p><b>4</b> 向いてそうな仕事は？</p> <p>まだやりたいことが分からない人は、他の人のアドバイスが参考になるかもしれません。また理由も聞いておくと、志望動機を考えるのに役立つかもしれません。</p>	

◇先輩からのアドバイス◇

郡上消防署 中消防署の方にお話を伺いました！



みしま りゅうや  
三島 隆矢さん(24)  
郡上高等学校 卒



しみず としき  
清水 稔喜さん(21)  
関商工高等学校 卒



こばやし なおや  
小林 直矢さん(34)  
國學院短期大学 卒

<p><b>どんなお仕事をされていますか</b></p> <p>警防係をしています。道路工事等届け出が提出された際に緊急車両が通行できるかの調査をしたり、大きな事業所などで火災が起きた場合の対処方法の警防計画を、数年に一度作成しています。また消火栓の場所や、ホースの種類の確認などの水利調査もしています。(三島)</p> <p>救助係をしています。救助の際に使用する資器材や、空気ポンプの点検・管理をしています。他に資器材を使った訓練や、避難訓練の起案をしています(清水)</p> <p>庶務係をしています。予算の管理や、職員の勤務管理をしています(小林)</p>	<p><b>仕事のやりがいや印象に残っていることは</b></p> <p>初出勤の際につらい思いを経験したので、出来る限り助けられる命は助けたいという気持ちが強くあります(三島)</p> <p>学生時代柔道をやっていた、この体力を活かせる仕事に就けてやりがいを感じています(清水)</p> <p>同じ現場が一つもなく、自分の力量が明確になるため、日々の訓練やスキルが身につくよう努力しています(小林)</p>
--	--

<p><b>消防職員になろうと思った理由は</b></p> <p>消防への憧れがあり、職場体験等で消防の仕事を体験したことで、より強く消防職員になろうという気持ちになりました(三島)</p> <p>同じ現場が一つもないことにやりがいを感じたことと、地元で就職したいという気持ちから消防職員になろうと思いました(清水)</p> <p>人の役に立てる仕事がしたいと思っていました。消防の仕事をしている友人から消防の話を知ったり、自身のけがの体験から、消防職員になりたいという気持ちが強くなりました(小林)</p>	<p><b>就職活動をはじめると後輩へのメッセージ</b></p> <p>消防職員になるには、二次試験(面接)で人間性を見てもらったり、自分の想いを伝えるためにも、一次試験(筆記)をクリアする必要があります。日々の積み重ねが大切だと感じたので、一日一問でもいいので、問題を解くなど努力すると良いと思います(三島)</p> <p>部活動で、メンタル面や体力面を鍛えると良いと思います。また夏季講習などを利用して勉強するのも良いと思います(清水)</p> <p>どんな仕事でも、コミュニケーションが大事だと思います。「3つのあ(あいさつ・あやまる・ありがとう)」を大切にしてください。また、就職に対して焦り等もあると思いますが、やりたいことをやってください。努力をすれば、自分の理想に近づけると思います(小林)</p>
--	---



<編集後記>【保護者の方へ】新型コロナウイルスの影響でお子さんの、今後の進路や就職に不安を感じてみえると思います。高校生の就職活動は学校が中心となってサポートしていますが、身近な方のサポートも不可欠です。就職活動の流れや就職環境を理解して、本人と一緒に最善の道を考えてあげてください。社会経験の少ない高校生が納得のいく就職をするためには、自分の力で将来を選択するのに十分な知識とアドバイスを周囲の方から与えられることが大切ではないでしょうか。